令和２年度事業計画

１．基本方針

最近では、生涯現役社会の実現に向けて、就業を希望する高齢者については就業機会の確保を図りつつ、それぞれの高齢者の希望・特性に応じた活躍のため、多様な選択肢を許容し、選択ができるような仕組みが検討されています。

このように高齢者の労働力としての拡大が強く求められる中、就業を通じて高齢者の福祉の増進に資するシルバー人材センター事業の重要性とシルバー人材センターに向けられる地域社会の期待は一層大きなものになっています。

このような状況下、当センターの地域における存在感を高め、積極的な事業運営を行うためには「会員の拡大」が最重要課題となります。当センター会員数は平成２１年度末の３６４人をピークに連続して減少しており、最近では下げ止まりの状況にあります。「会員の拡大」には、発注者に喜ばれ、会員の多様性に対応し、満足度を満たすセンターであることが重要だと思われます。

働く意欲と能力を持った高齢者であれば、誰でも参加できるシルバー人材センターを目指し、事業の基本理念である「自主・自立、共働・共助」のもと、効率的な事業の推進と活性化に努めてまいりますので、会員の皆様のご協力をお願いします。

２．事業実施計画

（１）会員の拡大

高齢者の働く場所が増えた事により、シルバー人材センター以外でも就業できる現在、如何にセンターの良さを知ってもらうか、魅力のあるセンターをつくれるかが重要です。

会員拡大に効果があるのは、口コミによる入会促進です。それには、組織内部の改革に努め、一人でも多くの会員が満足できる組織を目指します。

（２）就業機会の確保及び拡大

就業場所のほとんどが、日南市に限られるため、如何にリピーターを増やすかが大切です。就業において「誠実・丁寧・安心」を常に心掛けていれば、リピーターは増加します。

但し、残念なことに、せっかくの再度受注してもらえたお客様を個人的に受注し、センターを通さずに仕事をする会員を見かけます。事故発生時のトラブル等懸念されます。慎んでください。センターの会員として、誇りをもっての就業をお願いします。そうすれば、必然的に受注拡大につながります。

（３）安全・適正就業の徹底

賠責事故の場合、不慮の事故といえないような、慢性、反復性の高い事故が毎年発生しています。特に刈払機を使用した事故については、ネットの利用を呼びかけ、石の飛びにくい刃を配布するなどして事故ゼロ、を目指しておりますが、毎年発生しています。草刈り部会を中心にまずは、刈払機を使用した事故ゼロを目指し、安全パトロールや安全講習を実施することにより、事故の根絶に努めます。

傷害事故につきましては、発生件数が低く推移していますので、引き続き事故ゼロを目指します。

また、適正就業に関しましては、「シルバー人材センターの適正就業ガイドライン」に沿った就業を行います。

（４）普及啓発活動の推進

センターの存在意義を広く知ってもらうため、市及び関係団体などと連携し、地域の活性化を図るとともに、ボランティア活動を推進することにより、普及啓発に努めます。

また、センターのホームページを改修しましたので、迅速に情報発信していく努力をします。

（５）組織の充実強化

活力ある組織運営の推進を図るため、理事会及び各種専門委員会、職群班、地域班において事業運営の充実強化の検討を進め、必要に応じて組織体制の改善に努めます。